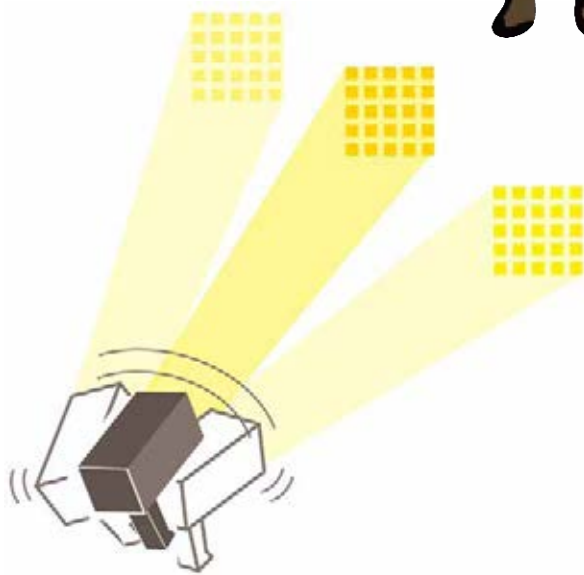
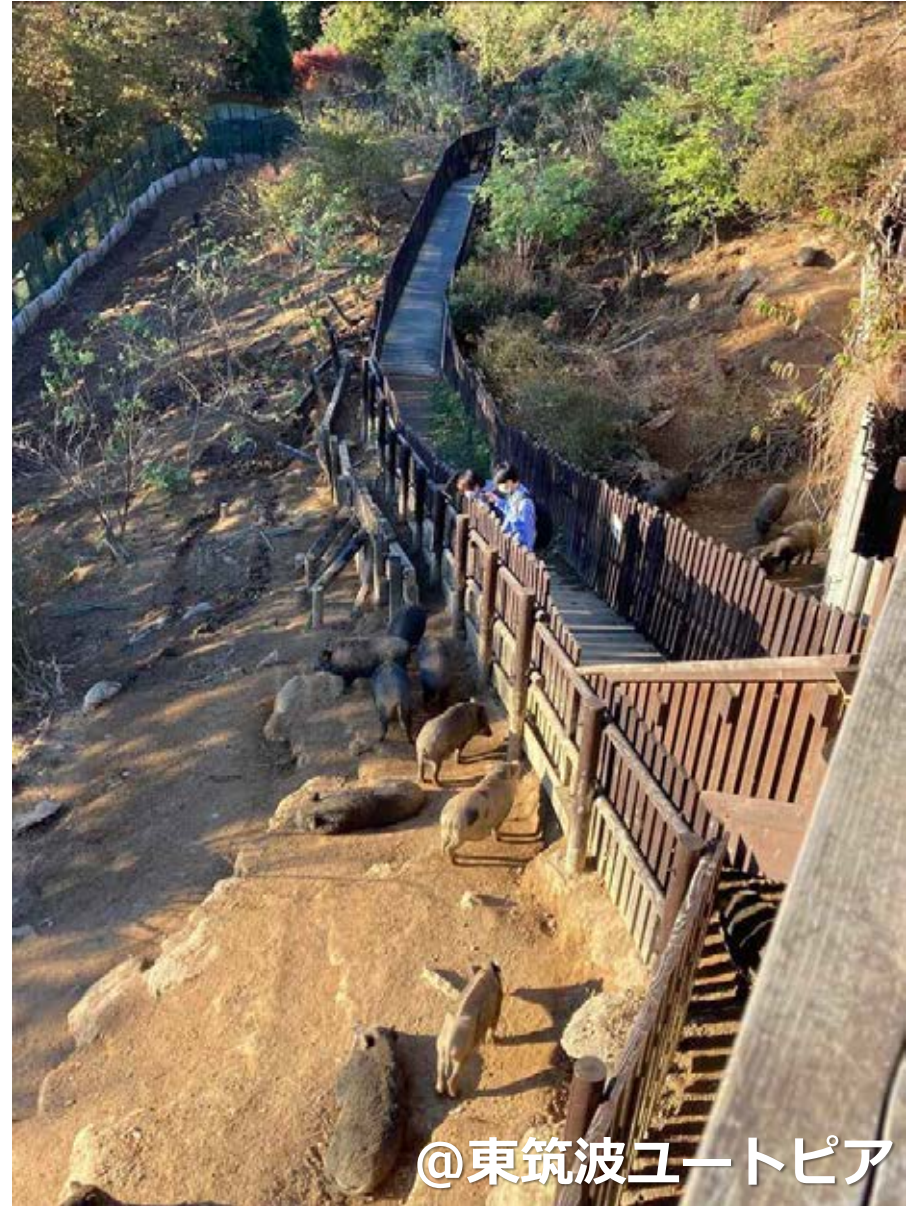


実験概要（手動）

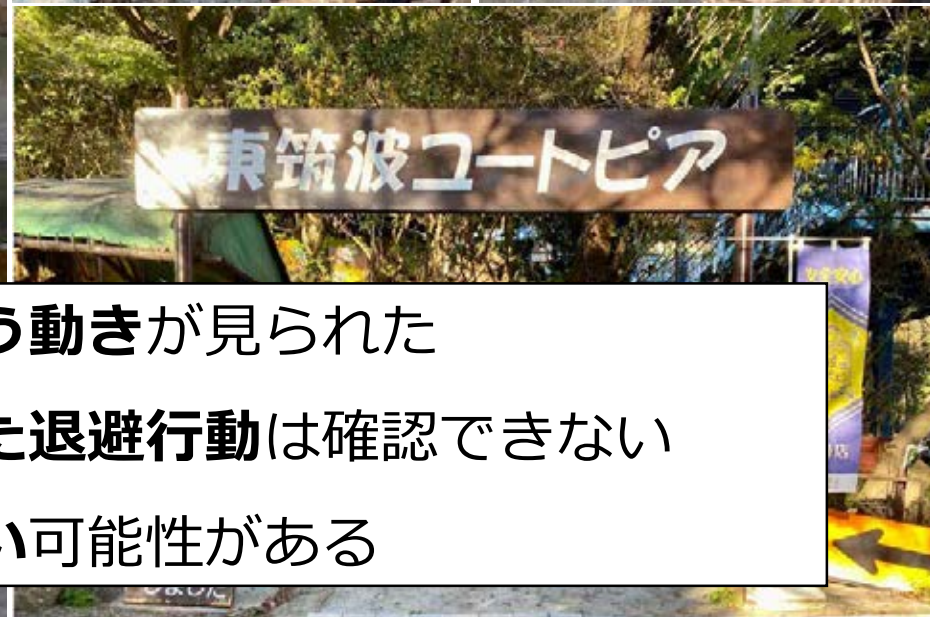
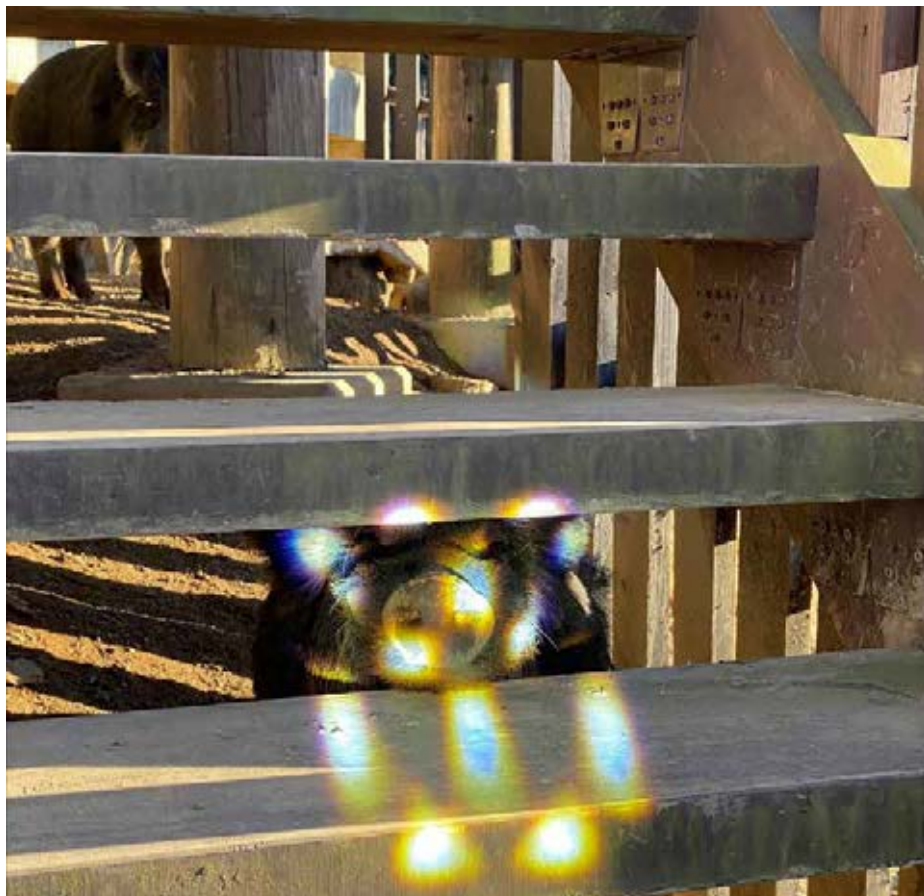


手動型で反応を観察



@東筑波ユートピア

実験結果（手動）



- 光を照射すると目で光を追う動きが見られた
- 飛び跳ねるような目に見えた退避行動は確認できない
- ヒトに慣れた獣は反応しない可能性がある

実験概要（自動）

追い払い



自動検知

らくモニ
Camera



センサー検知
映像記録

らくモニ
IoT

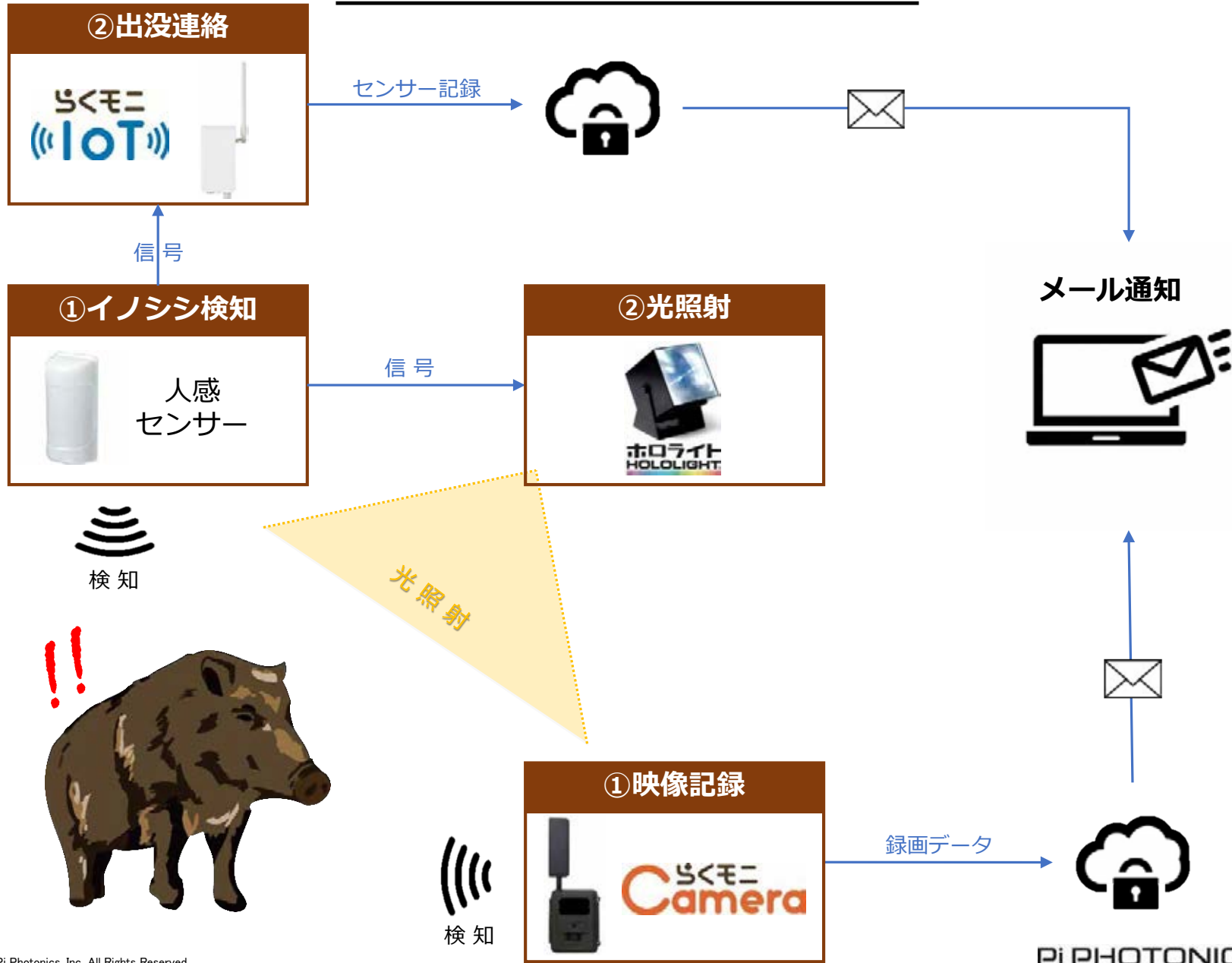


出沒連絡

光

IoT

実験内容（自動）



実験機材



①らくモニCamera（トレイルカメラ）

らくモニ
Camera

イノシシを感知して撮影開始、メール通知

②トレイルカメラ

イノシシの出没状況をタイムラプス映像で常時記録

③人感センサー1

イノシシを感知してホロライトへ信号を送る

④人感センサー2

イノシシを感知してホロライトとIoTセンサーへ信号を送る

⑥らくモニIoT（IoTセンサー）

らくモニ
IoT

人感センサーからの信号でメール通知

⑦防雨BOX

IoTセンサーおよびその他の電源機材を雨風から保護

⑤ホロライト・ファイブライン

ライン状の光パターンが手前から奥に向かって
スキャンするように順番に光を照射



光のパターン



重量：約1.5kg
サイズ：
103mm×103mm×160mm

実験場所



実験場所：稲葉酒造（茨城県つくば市沼田1485）

被害内容：裏山の土の掘り起こし

現状対策：有刺鉄線



実験期間

2021年

11月24日
東筑波で
実験



12月10日
中部電力PG
連携決定

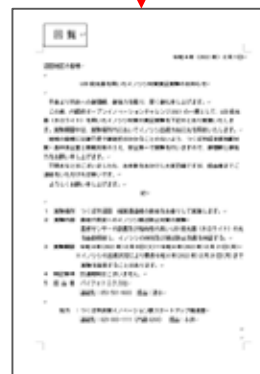


2022年

1月11日
現地下見



2月1日
回覧版にて
実験の周知



2月8日
実験機材
の設置



～

- 手動の実験は「東筑波ユートピア」で実施した
- 自動の実験は中部電力パワーグリッド(株)と連携をして実施をした
- 自動の実験は2022年2月8日～2月28日の約3週間を予定している

動物に対してセンサー反応中



今後の課題

課題 1 : 野生のイノシシの反応が未確認（実験中）
→**実証実験を継続して効果を確認する**

課題 2 : ホロライトの稼働に電源供給が必要
→**太陽光発電の可能性を検証する**

課題 3 : 機材の最適な設置位置がわからない
→**効果的な設置位置、光の照射角度を検証する**

人と野生鳥獣が共存できる未来に

地方自治体



パイフotonics株式会社
Pi PHOTONICS, INC.



HOLOLIGHT®

パイフォトンクス株式会社 Pi PHOTONICS, INC

新しい光の使い方を追求し

地球の未来を拓きます

<https://www.piphotonics.com/>



地域未来牽引企業

Copyright © Pi Photonics, Inc. All Rights Reserved.



HOLOLIGHT®



J-Startup
CENTRAL

Pi PHOTONICS, INC.